

都道府県 CI・予測 CI（景気動向指数） ～新型コロナウイルス感染拡大により大幅悪化

2020年6月2日

公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部

九経調では、2020年4月から全国の地域ブロック別、都道府県別の景気動向指数（都道府県 CI）ⁱを作成し公表している。加えて、政府統計等が公表されていない足元までの期間について、インターネット上の日次データや機械学習の手法を用いて、都道府県 CI の3カ月先を予測した景気動向指数の予測値（予測 CI）ⁱⁱを DATASALAD にて公表している。本稿では、5月末日までの統計、インターネット上のビッグデータを用いて推計した2020年6月の予測 CI を解説する。

2020年6月の九州7県の予測 CI：リーマンショックを超える低下幅続く

2020年6月における九州7県の予測 CI は前月比▲12.5%の65.8となり、5カ月連続で悪化した。6月の前月比は2020年5月の同▲15.1%に次ぐ低下幅であり、統計開始の2008年1月以降で2番目に大きい。リーマンショック時の2008年12月の同▲10.6%よりも大きな低下となった。

全国は前月比▲12.0%の70.9となり、5カ月連続で悪化した。6月の低下幅は統計開始の2008年1月以降で最大となっている。新型コロナウイルス感染拡大以降、九州7県の指数の水準は全国より低く、低下幅も大きくなっている。

都道府県 CI、予測 CI は、景気の水準とともに、景気の拡大・後退のスピードを把握することができる。新型コロナウイルス感染拡大以降、景気の水準はリーマンショックに迫る勢いで悪化しており、さらにその悪化のスピードが非常に速いことがコロナショックの特徴であることがわかる。

図1 都道府県 CI、予測 CI（全国、九州7県）



注1) 2020年3月までは実績値（都道府県 CI）、4月以降は予測 CI

注2) 2020年6月1日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

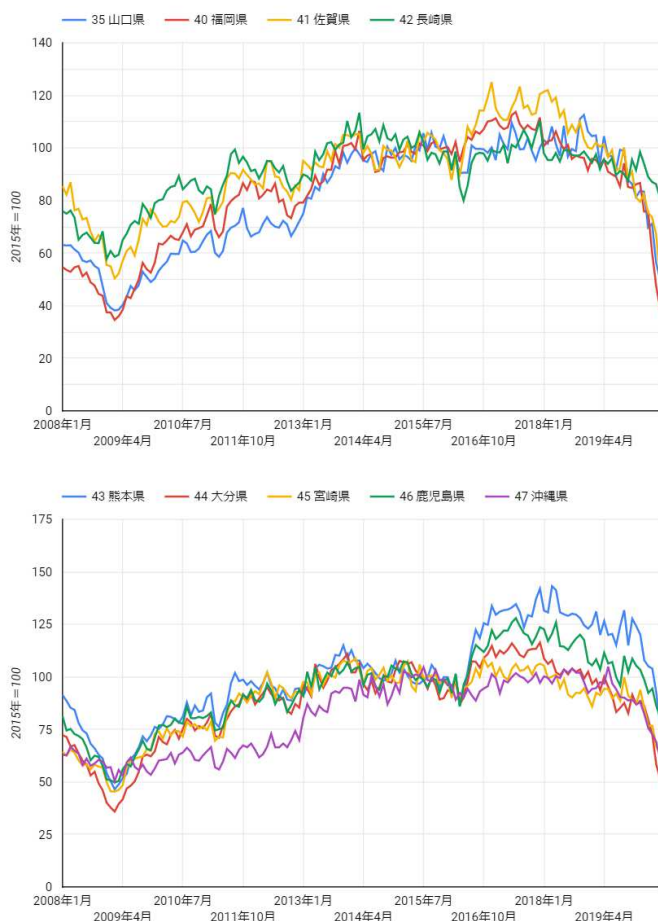
2020年6月の九州各県の予測 CI：福岡県が最低の水準

2020年6月における九州7県の予測 CI を県別にみると、福岡県（39.0）、山口県（50.0）、大分県（51.5）の水準が低い。前月比では佐賀県（同▲23.1%）、福岡県（同▲18.2%）、熊本県（同▲15.7%）の低下幅が大きい。

指数の低下に寄与した項目をみると、福岡県、大分県では消費分野、雇用分野の低下の影響が大きい。山口県は生産分野、雇用分野の低下がよりマイナスに寄与している。一方、指数の水準が九州のなかで比較的高い長崎県、熊本県、鹿児島県は、消費分野、雇用分野は他県と同様にマイナスに寄与しているが、生産分野の低下寄与が小さい傾向がある。

松嶋 慶祐（事業開発部 主任研究員）

図2 都道府県 CI、予測 CI（県別）



注1) 2020年3月までは実績値（都道府県 CI）、4月以降は予測 CI

注2) 2020年6月1日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

表1 都道府県 CI、予測 CI (全国、九州地域)

	指数 (2015年 = 100)						前月比 (%)					
	都道府県CI			予測CI			都道府県CI			予測CI		
	2020年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	2020年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
全国	95.0	93.1	91.6	89.4	80.5	70.9	0.4	▲2.0	▲1.6	▲2.4	▲9.9	▲12.0
九州7県	97.6	90.7	89.3	88.6	75.2	65.8	2.5	▲7.1	▲1.5	▲0.8	▲15.1	▲12.5
山口県	83.7	83.4	69.7	71.2	56.4	50.0	2.8	▲0.4	▲16.4	2.2	▲20.8	▲11.4
福岡県	86.7	75.8	75.8	60.3	47.7	39.0	0.6	▲12.6	0.0	▲20.4	▲21.0	▲18.2
佐賀県	79.6	82.4	75.4	73.7	67.2	51.7	▲2.0	3.5	▲8.5	▲2.3	▲8.8	▲23.1
長崎県	98.5	94.0	89.1	87.1	86.3	80.9	7.5	▲4.6	▲5.2	▲2.3	▲0.9	▲6.2
熊本県	120.1	107.9	105.1	103.9	92.4	77.9	▲3.3	▲10.2	▲2.6	▲1.1	▲11.1	▲15.7
大分県	88.6	86.0	79.5	72.4	58.1	51.5	1.7	▲2.9	▲7.6	▲9.0	▲19.7	▲11.4
宮崎県	93.9	85.1	76.6	76.7	66.8	62.5	7.9	▲9.4	▲10.0	0.2	▲13.0	▲6.4
鹿児島県	103.4	98.6	92.4	94.4	86.2	80.7	▲1.8	▲4.6	▲6.3	2.2	▲8.7	▲6.3
沖縄県	87.9	82.3	75.6	72.7	68.9	60.8	1.2	▲6.4	▲8.1	▲3.8	▲5.2	▲11.7

注1) 2020年3月までは実績値 (都道府県 CI)、4月以降は予測 CI

注2) 2020年6月1日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

i 景気動向指数 (CI) は、生産、雇用など様々な経済活動での重要かつ景気に敏感に反応する指標の動きを統合することによって、景気の現状把握を行うための総合指数である。九経調が公表している都道府県 CI は、内閣府が公表する CI の作成方法を踏襲し、さらに都道府県・地域で共通する指標を用いつつ、景気変動を反映する主要分野の動向を網羅している。このことにより、的確に地域の景気動向を把握することができ、さらに、都道府県間、地域間での比較が可能である。

詳細は下記レポートを参照されたい。

- ・松嶋慶祐、三井栄「C I 手法の応用による九州地域の景気分析と景気予測の可能性」九州経済調査月報 2019 年 11 月号

ii 予測 CI は、機械学習を用いた線形回帰モデルを用いて、都道府県 CI を予測したものである。経済指標のほか、気象データ (気温や降水量) など、景気の動向に影響を与えると想定されるデータを説明変数として投入し、機械学習によってモデルを作成している。予測 CI は全国、地域ブロック、九州地域 (九州、沖縄県、山口県) の県別値のみ推計している。

詳細は下記レポートを参照されたい。

- ・松嶋慶祐「日次データと機械学習の活用による景気予測」九州経済調査月報 2020 年 1 月号